

Ⅱ．アスベスト飛散量の計測

1. アスベスト飛散濃度計測実験の目的

- 大阪府立金岡高等学校普通教室棟大規模改修工事において、アスベスト（青石綿）が、校舎の南側・北側の1階から4階までの校舎庇（ひさし）の軒裏の一部に吹付けられていたことに気づかず、天井ボード仕上げ材の撤去着手から応急対策を完了するまでの約3週間程度、アスベストが外部に露出していた状況であった。

この事故の中で、アスベスト飛散の原因と考えられる、天井ボード仕上げ材の撤去時に発生するアスベスト飛散濃度について文献データ等を調査しているが、今回の事故状況と一致するものが見当たらない状況である。

そこで、平成27年度夏季に実施する特別教室棟アスベスト除去工事にて設置する外部足場を利用し、金岡高校の現地で実際にアスベスト飛散濃度計測実験を実施するものである。

2. 特別教室棟の庇で実験を行う理由

- 普通教室棟については、既に庇の天井ボードが撤去されており、庇内部における劣化して剥離等したアスベスト片が存在しないと考えられるため。
- 特別教室棟における庇に天井ボードが設置されている個所については、問題となっている校舎棟と同一時期に同一業者（請負業者）にて施工されているため。

上記、2点を踏まえて、当時の状況にもっとも類似している中での実験であると考えます。

3. 実験実施についての検討

○ 夏季に実施する特別教室棟アスベスト除去工事については、次の工程で施工を実施することが考えられる。

- ①外部足場設置（7月初旬以降） →
- ②庇天井ボードシーリング作業（7月中旬以降） →
- ③外部足場解体（7月下旬以降） →
- ④内部アスベスト除去・外部庇裏アスベスト除去用養生工事（7月中旬以降） →
- ⑤工事完了（8月下旬）

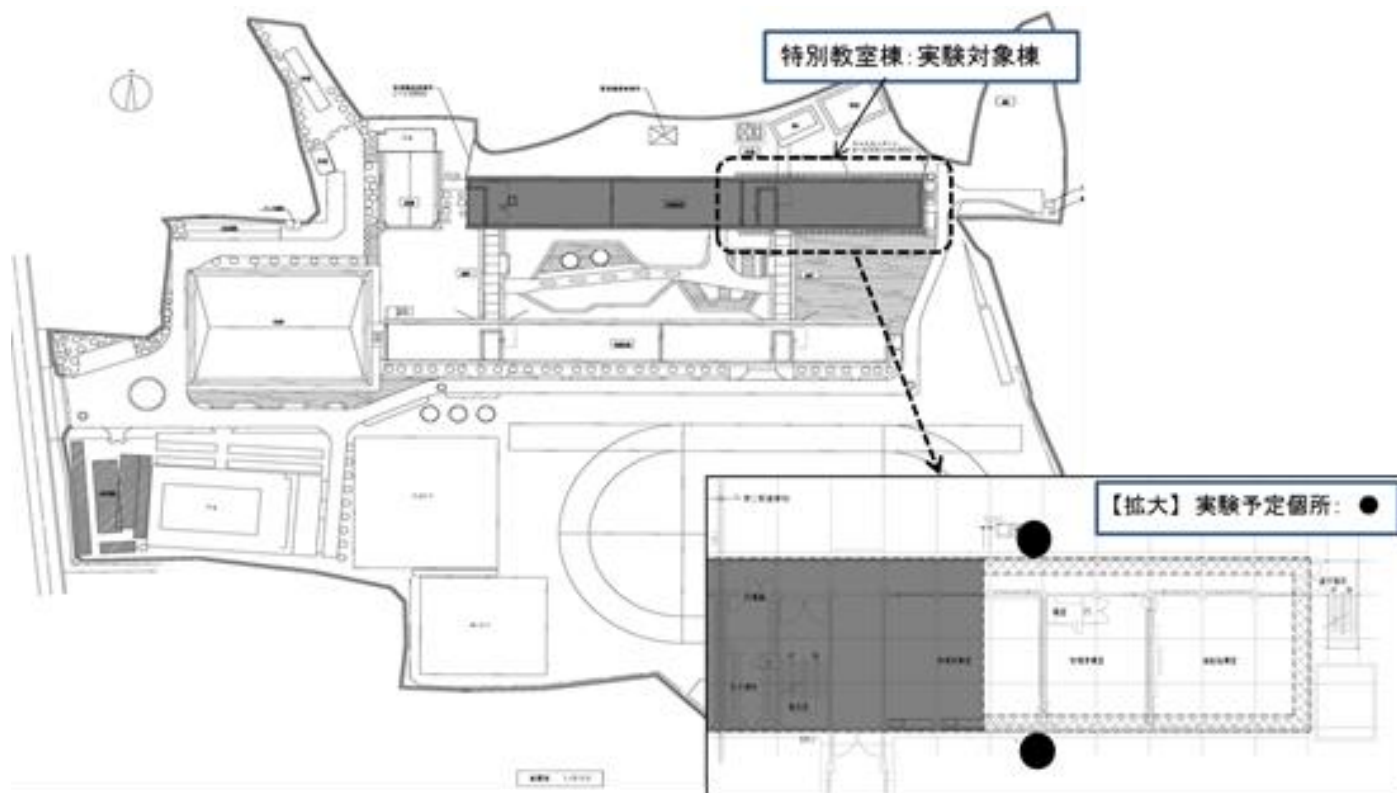
この工程計画を基本として、工事工程への影響を出さないこと等を踏まえて、実施可能な実験作業工程の検討を行う。

4. 実験作業工程

- ①外部足場設置（7月初旬以降）の完了後、
- ②庇天井ボードシーリング作業（7月中旬以降）を実施する前に、1～4階（南北）の天井ボード（1枚）を撤去し計測を実施する。

※工事の設計変更をすることなく、8か所の計測を実施する。

ただし、庇内部の状況調査が実施可能であれば、計測箇所の選定を行う。



5. 実験実施についての問題点

- 足場設置完了後、速やかに実験を実施するため、特別教室棟アスベスト除去工事受注業者が実験作業を行う必要があるが協力（実験業務の受注）を得られるかは不明である。



受注業者に打診中（工事施工に支障のない範囲での協力）

- アスベスト飛散濃度計測を実施するにあたり、本実験結果がH24年度に発生したアスベスト飛散事故のリスク評価に係る参考資料となることから、測定方法、分析等についての専門的知識を有する専門家の監修、業務協力が必要不可欠となる。



小坂先生に協力依頼